

# 19年度予算での主な取り組み

**快適なまち  
をめざして**



**●道路・交通体系の整備充実**

道路整備については、4路線の幹線道路整備を継続実施するとともに、幹線道路へのアクセス道路及び生活圏道路として10路線を整備し、地域内交通の円滑化を図ります。

また、町全体の公共施設の利用や町内交流の活性化などのため、新たに地域公共交通に係る会議を設置し、地域内交通のあり方について検討を開始します。

**●上下水道の整備充実**

簡易水道では、引き続き六郷東部地区簡易水道事業として、配水管敷設3千9メートル、消火栓11基を整備する

幹線道路へのアクセス道路整備事業	9,097万円
幹線道路整備事業	4億3,909万円
生活密着型交通体系対策事業	2,052万円
六郷東部簡易水道事業	1億1,184万円
公共下水道事業	4,140万円
畑屋地区簡易水道事業	7,611万円
公営住宅建設事業	5,278万円
定住情報提供事業	48万円
合併浄化槽導入促進事業	4,123万円

ほか、羽貫谷地地区の課題解決のため、新たに畑屋・羽貫谷地地区統合簡易水道事業に着手します。また、水質保全については、地下水環境を監視する観点から新たに調査項目を追加することとし、水質調査に万全を期します。下水道では、下水道整備事業として下水管150メートルを敷設するほか、合併浄化槽導入促進事業の継続実施ならびに下水道及び農業集落排水への加入促進事業を展開し、施設の活用促進による水環境の保全に努めます。

**●快適な住宅環境の整備**

18年度に引き続き塚地区に町営住宅3棟を建築するほか、既存町営住宅の適切な管理・運営に努め、住宅事情困

窮者の需要に対応します。また、18年度から実施している定住情報提供事業による空き家・空き地情報等の内容充実を図りながら、新たに団塊の世代や首都圏からの移住促進のための定住ガイドの作成や、定住者促進支援策として固定資産税相当分の定住奨励金を交付する制度を新設し、定住促進に努めます。

**自然にやさしいまち  
をめざして**



**●環境保全の推進**

水質保全状況を確認するため、引き続き水資源保全事業として町内河川等の水質検査を実施するほか、ISO管理事業としてISO14001(国際環境基準)の認証の更新を目指すこと

平成19年度当初予算での主な取り組みについて町の総合計画の章に沿って紹介します。

もに、適切にシステム運用を図り、率先して環境負荷の軽減に努めます。また、美郷の誇る水環境を保全、次世代に継承していくため、町民意識を啓発し、水環境保全への理解と協力を促す啓発条例について、年度内の制定を目指します。

**●廃棄物減量と適正処理の推進**

増え続けるごみの減量化を図るため、引き続き生ゴミ処理機の導入を推進するとともに、かねてより懸案となっていた可燃ごみの有料化について、大仙市との連携のもとで検討、調整を行います。

また、仙南地区の一般廃棄物最終処分場については、周縁水質調査などを実施しながら適切な維持管理並びに整備に努め、閉鎖に向けた県との協議を継続するとともに、六郷地区の一般廃棄物最終処分場についても同様に維持管理に努めます。

**●土地の計画的利用と保全**

土地の適正管理推進のため、県との調整を踏まえて、仙南地区64ヘクタールの地籍調査事業を実施します。

ISO管理事業	116万円
最終処分場事業	542万円
不法投棄対策事業	131万円
ごみ減量リサイクル対策事業	210万円
地籍調査事業	1,861万円

## 健やかなまち をめざして



### ●健康生活の推進

生涯を通じた健康づくりに向けて、引き続き社会教育活動と連携を図りながら体力・健康づくり講座を開催するほか、食育推進事業や自殺予防のためのこころの健康づくり事業を継続実施します。

また、成人総合検診事業では、生活習慣改善による予防効果が高いとされる骨粗しょう症に対して関心を高めるため、19年度より骨密度検診の対象年齢を20歳に引き下げるほか、新たに成人の歯周病検診を実施するなど、疾病予防に向けて検診の充実を図るとともに、法律改正に伴う内臓脂肪症候群該当者・予備群の減少に向けた特定健診、特定保健指導を20年度から実施できるよう、その計画策定に着手します。

### ●児童福祉の向上

「認定こども園」として引き続き各般の事業を円滑に推進し、児童福祉の維

持に努めるとともに、放課後児童健全育成事業については、町民や保護者、学校関係者等の意見を伺いながら、より望ましい児童保育のあり方を検討します。また、町独自の保育料等の減免や乳幼児の医療費軽減策を講ずるほか、健やかな成長を願いブックスタート事業も継続実施します。

さらに、引き続き関係機関との連携のもと、要保護児童の早期発見や早期対応に努め、児童虐待の防止に努めます。

### ●高齢者福祉の向上

本年4月から大曲仙北広域圏内でも要支援者に対する介護予防給付が本格化することから、地域包括支援センターの一層の体制整備を図り、制度の円滑な運営に努めます。

また、介護用品や介護者手当の支給など在宅介護者への支援策を継続するとともに、はり・きゅう・マッサージ

健康づくり・生活習慣改善事業	391万円
こころの健康づくり事業	62万円
食育推進事業	30万円
成人総合検診事業	1億83万円
乳幼児健診事業	556万円
すこやか子育て支援事業	1,744万円
放課後児童健全育成事業	1,150万円
はり・きゅう・マッサージ助成事業	708万円
温泉無料券交付事業	468万円

助成、温泉入浴への支援などを引き続き実施し、高齢者の健康維持増進策を推進します。

### ●障害者福祉の向上

障害者自立支援法が全面施行され、国では通所施設や在宅サービス利用者などの負担軽減措置の拡充を予定しており、町ではその周知に努めるとともに、町で実施する相談支援事業や生活サポート事業など地域生活支援事業の適切な推進を図ります。

## 心豊かなまち をめざして



### ●乳幼児教育の充実

年長児の町内3施設交流を推進するほか、幼児期の食生活の重要性に鑑み、保護者や園児に対する食育の啓蒙普及に努めます。また、虫歯の減少を図るため、新たに園歯科医の指導のもとで5歳児を対象にフッ素洗口を実施します。

### ●学校教育の充実

一人ひとりの特性や能力を伸ばさせ

るため、引き続き確かな学力定着事業を実施するとともに、身体的障害や学習障害などの児童生徒に対応するため支援員を配置します。

また、児童・生徒の減少と将来の見通しを考慮しながら、学区再編を視野に入れた学校教育の将来構想、望ましい学校規模のあり方や教育環境について検討する委員会を設置します。

施設整備については、老朽化した六郷中学校の大規模改修を3カ年継続事業として着手するとともに、隣接する総合体育館アスパルの中学校体育館への用途変更に伴う渡り廊下整備のほか、千畑中学校のグラウンド改修や金沢小学校の屋上防水工事等の環境整備を図ります。

また、学校給食については、地場産食材を活用した給食提供にも努め、学校給食の充実と食育の推進を図ります。

### ●社会教育の推進

社会教育中期推進計画に基づき、生涯学習を幅広く奨励するために、初心者向けや各地区共通の新規講座を開設するとともに、自主活動グループ講座が充実するよう支援します。併せて、芸術文化に触れる機会として、映画上映会・自衛隊音楽コンサートを実施するほか、学友館においては館蔵品、県展等入選作品の展示を実施します。

### ●スポーツの振興

秋田わか杉国体自転車・バドミントン競技の開催に向け、町民の皆さんの参画のもと、万全の準備に努め、心に残る国体開催を目指します。

また、県のモデル指定になっている体力・健康づくり事業をスポーツ教室と併せて継続実施するとともに、地域住民が主体的に運営する総合型地域ス